



オーエス張込スクリーンに シネマスコープサイズ対応のカーブドスクリーン登場!!

株式会社オーエスプラス e（本社：東京、代表：奥村正之）は、映画館の臨場感を生むカーブドスクリーン PA-LC を 12 月 1 日より発売いたします。

オーエススクリーン PA は、張込スクリーンとして抜群の平面性と、フルハイビジョンに最適のスクリーン生地ピュアマット II plus で、多くのホームシアターファンの支持をいただいているスクリーンです。

今回発表いたしますカーブドスクリーンは、そのピュアマット II plus の幕面を湾曲させ、映画館と同じように左右の画面がより臨場感を持って、見る人に迫ってくるスクリーンです。

ブルーレイディスクの登場により、映画ソフトはシネマスコープサイズが続々とリリースされています。このソフトを、映画館そのものの臨場感を持って再現するのが、カーブドスクリーンです。ソフト面ばかりでなく、プロジェクターなどのハード面でも、大型化が簡単に実現できる環境が整いました。

カーブドスクリーンを実現するためには、アナモフィックレンズが不可欠ですが、PA カーブドスクリーン LC は、厳密なカーブ造形によりレンズの特性を引き出し、隅々まで抜群のフォーカス感を生み出します。

株式会社オーエスプラスでは、このカーブドスクリーンを、本格的シアターライフをお求めになる映画ファンの皆様のために、発売いたします。

商品名：オーエススクリーン PA シリーズ カーブドスクリーン LC

希望小売価格：受注生産のためオープンになります

発売予定日：2009 年 12 月 1 日 (火)



《PA カーブドスクリーン LC の主な特長》

- プロジェクターレンズ面からの距離を等距離にし、隅々までのフォーカス感を実現するアナモフィックレンズに対応する厳密なカーブ成形。
- 幕面は、フル HD のクオリティを余すことなく再現するピュアマット II plus と、THX 認証のサウンドスクリーン E2S の、2 種類のスクリーンを用意。
- サウンドスクリーンは、スピーカーを幕の後ろに置けるため、より映画館の条件に近づくほか、部屋の壁面いっぱいにスクリーンの設置が可能。
- フレームは、有害光の影響が少なく闇に溶け込みやすい、黒色フロッキー加工を採用。
- フロッキー加工により、高級感や品質感も向上。
- フレームは軽量アルミ製のため、分解搬入・設置が楽々。
- 幕面のフレームへの取り付けは、スプリングフックを採用。幕面の季節変化や経年劣化にも、常に平面性を保つことが可能。
- 特注対応のため、お部屋の条件に合わせオリジナルサイズのスクリーン制作が可能。

《シネマスコープを楽しむためには次の機器が必要です》

アナモフィックレンズ

プロジェクターのフル画素を使用し、シネスコ画面をお楽しみいただくためには、アナモフィックレンズが必要です。通常ですと上下に黒オビが入ってしまうシネスコ映像を、プロジェクターの V ストレッチ機能を使用し、16 : 9 パネル一杯にシネスコ映像部分のみを縦方向に引き伸ばします。そして、アナモフィックレンズにより 2:35 : 1 のアスペクト比に変換し、投影することにより、プロジェクターの持つ最大画素を使用し、シネスコ映像を楽しむことができます。



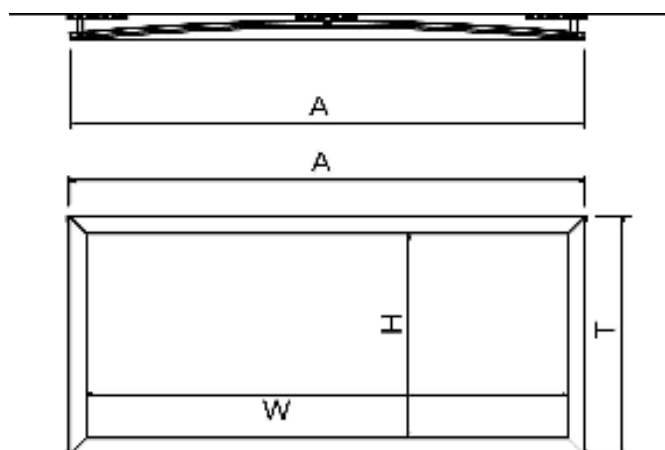
アナモフィックレンズ(左)と電動スライド架台(右) Schneider (独) 提供)

画角変換機能付きスケーラー

シネマスコープ映像以外の 16:9 などのコンテンツを見る場合、自動的にアスペクト比（横縦比）を変更して、適性画角で投影するように補正をする便利なもので、アナモフィックレンズをコンテンツごとに取り替える必要がありません。

《PA カーブドスクリーン LC の主なラインナップ》

型式	イメージサイズ (W×H) mm	全長 mm	全高 mm	製品質量 kg
PA-120LC-02	2795×1193	2994	1397	13.5
PA-130LC-02	3029×1294	3228	1498	14.5
PA-140LC-02	3263×1393	3462	1597	15.5
PA-150LC-02	3492×1491	3690	1695	16.5



サンプル視聴会風景 (PA-120C-02 使用)

《本件に関するお問い合わせ》

株式会社オーエスプラス e 本社：〒120-0005 東京都足立区綾瀬 3-25-18

コンタクトセンター

電話：フリーダイヤル 0120-380-495 F A X：フリーダイヤル 0120-380-496

※接続できない場合には、次の番号をご利用ください。TEL.03-3629-5211 FAX.03-3629-5214

E-mail e-info@os-worldwide.com

《本ニュースに関するお問合せ先・ニュース発信者》

株式会社オーエス 本部：〒120-0005 東京都足立区綾瀬 3-25-18

マーケティンググループ 藤枝 昭

TEL.03-3629-5356 FAX.03-3629-5187 E-mail a.fujieda@osscreen.com

株式会社オーエスプラス e 会社概要

名称：株式会社オーエスプラス e

本社：東京都足立区綾瀬 3-25-18

創業：2000 年 10 月

資本金：1000 万円

代表者：代表取締役 奥村正之

事業内容：

2000 年 10 月 12 日創業以来、日本市場に「家庭で映画を」と言う、ホームシアター文化を提案・構築。社名変更を機に、ホームシアターに留まらず、更に映像文化に関する幅広い取り組みを推進し、業績拡大を目指す。

オーエスグループの中でも、最もエンドユーザーに近い企業として、グループ全体のスローガンである「キモチをカタチに」の実現を目指す。

《(株)オーエスプラス e 関連企業》

株式会社オーエスエム／本社：兵庫県

株式会社オーエス／本社：大阪

株式会社オーエス沖縄黒板／本社：沖縄県

OSI CO., LTD./Hong Kong.

《日本総販売代理店》

OPTOMA 社(台湾)／ 世界 NO1 のシェアを持つ DLP プロジェクターメーカー

SCREEN RESEARCH 社（フランス）／ THX、ISF 公認のサウンドスクリーンメーカー

VORGEL'S 社（オランダ）／フラットディスプレイなどのスタイリッシュハンガーメーカー

AB t US（シンガポール）／世界 50 カ国で愛されている AV 機器メーカー